

トリニダード・トバゴ月間情勢報告 (2025年1月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1月のトリニダード・トバゴの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 概況

- ローリー首相は、2025年に予定されている総選挙に出馬しない旨を発表するとともに、次期首相にヤング現エネルギー・エネルギー産業大臣兼首相府付大臣を推薦すると発表。
- 政府は国内の治安悪化に鑑み、緊急事態宣言を3か月延長すると発表。
- 警察庁は緊急記者会見を開き、ハレウッド＝クリストファー警察庁長官を、ベスト元戦略的サービス機関（SSA）長官に対して狙撃銃2丁の輸入を違法に許可した容疑で逮捕したと発表。
- 政府は、米EOG Resources社とトリニダード島沖合のNCMA 4(a)鉱区及びLower Reverse L 鉱区の生産分与（PS）契約に調印。
- インド政府はカンガルー大統領にプラヴァシ・バラティヤ・サンマン賞を授与。
- ボンド駐TT米国大使は、外交官として初めてTTの国家勲章（ハミングバード・ゴールド章）を受章。
- 梅澤新大使は信任状捧呈に先立ち、ブラウン外務・カリコム担当大臣を表敬。

2 内政

- （4日、7日報道）ローリー首相は、2025年に予定されている総選挙に出馬しない旨を発表するとともに、次期首相にヤング現エネルギー・エネルギー産業大臣兼首相府付大臣を推薦すると発表。
- （14日報道）政府は国内の治安悪化に鑑み、緊急事態宣言を3か月延長すると発表。
- （21日報道）カリコムは、TT政府の要請を受け、次期総選挙に選挙監視団を派遣すると発表。
- （31日報道）警察庁は緊急記者会見を開き、ハレウッド＝クリストファー警察庁長官を、ベスト元戦略的サービス機関（SSA、文民機関）長官に対して狙撃銃2丁の輸入を違法に許可した容疑で逮捕したと発表。

3 経済

- （23日報道）TT商工会議所による調査によると、外貨不足により62.2%

の国内企業がサプライヤーへの支払遅延に直面し、59.5%の企業が経営不振に陥っている。

●(30日報道) 政府は、米 EOG Resources 社とトリニダード島沖合の NCMA 4(a) 鉱区及び Lower Reverse L 鉱区の生産分与 (P S) 契約に調印。

4 外交

●(10日、28日報道) 第18回「海外在住インド人の日 (Pravasi Bharatiya Divas)」がインドのオディシャ州で開催され、インド政府はカンガルー大統領にプラヴァシ・バラティヤ・サンマン賞 (当館注: インド政府が在外インド人に授与する最高の栄誉) を授与。

●(16日外務省発表) マドリード新カリブ諸国連合 (A C S) 事務局長はカンガルー大統領に信任状を捧呈後、ブラウン外務・カリコム担当大臣を表敬し会談を実施。

●(18日報道) ボンド駐 T T 米国大使は、二国間関係強化への貢献が称えられ、外交官として初めて国家勲章 (ハミングバード・ゴールド章) を受章。

●(28日外務省発表) 梅澤新大使は信任状捧呈に先立ち、ブラウン外務・カリコム担当大臣を表敬。